

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

夢をかたちに  
国際ロータリー会長 李東建  
Make Dreams Real



和の心を深め合おう  
富津中央 RC 会長 高島治雄

2008 ~ 2009

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## 2082 第13回例会 2008.10.16 晴

点 鐘：高島治雄 会長  
進 行：千葉一利 SAA  
ソング：手に手つないで

### 会長挨拶

高島治雄 会長



秋の足音が速くなってきました。お久しぶりです。

さて、今日は水シリーズ第2話をしたいと思います。東大のある教授が先進国、途上国などで目に見える形で暮らしの中での水の使い方や量を把握する調査をしたそうであります。調査では、米国、日本、ケニア、中国の4カ国でそれぞれなるべく条件をそろえ一般的な中流家庭、年齢家族構成も同じく(30代から40代、子供が一人、職業はどちらかが教師)その家庭の蛇口に流

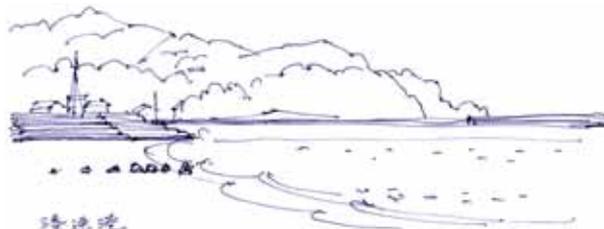
量計を取り付け、1週間の使用量、水の使い道などの実態を調査し、そのデータを分析しました。

その結果、日本のある家庭では一人が1日280.7L使ったという結果が出ました。つまり10Lバケツで28個。その家庭では節水を心掛けていたようですが、本当にびっくりして思わず声を上げたとのことです。過日の崎山ガバナーがスクリーンに映像したバケツのシーンは、このデータのものと同様にアメリカで抽出された家庭では、一人1日231.9Lバケツ23個分、アフリカケニアの家庭では、家から500mも離れた山のわき水を1日5往復、20Lのバケツで確保し、1日一人バケツ2個分、中国の家庭でも最近近代化が進む中で水不足が進み、洗濯の水をトイレに、野菜を洗った水は畠の水に等々工夫し、同時に高い水道料金を節約し一人1日5個分。

いずれにしてもケニア、中国ともWHOが飲用や衛生に必要とする50Lを下回り、日本、米国の家庭にあってはケニアの10倍以上の使用量になるとのことです。先日もお話ししましたが、あまりにも日本の各家庭では無造作に水を使い流し、日本の素晴らしい自然と浄水の技術を至極あたりまえと受け止めすぎていないかと自分を含めて反省するこの頃です。

地球温暖化に伴い日本の国土でも降雨・降雪量の減少で将来生活・農業用水の不足もあり得

〒293-0042 富津市小久保2868  
さざ波館 Sazanami-kan  
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,  
Zip code 293-0042  
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304  
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



る可能性は否定できないと、日本のある研究所は言っております。

## 会長報告

1. 10月2日理事会を開きました。

この23日は、アカデミアパーク内に新設された黒田精工の会社を須藤会員のお骨折りで職場見学します。詳しくは、幹事が報告いたしますが、多数の方々の参加を希望します。

## 幹事報告

佐藤信泰 幹事

1. 第2回第4分区会長幹事会の開催

日時 10月16日(木) 15:00より

場所 さざ波館

2. 黒田精工(株)上総アカデミア工場見学者の確認

日時 10月23日(木) 例会後、さざ波館を

12:45頃出発予定

3. 例会変更の案内

木更津 RC 10/16(木)休会 定款 6-1-C

10/30(木)10:20～12:00 移動例会

西清小学校にて邦楽教室

木更津東 RC 10/29(水)休会 定款 6-1-C

4. 木更津東 RC・富津シティ RC・上総 RC より週報

5. 経済産業省より「ベンチャー企業育成に関する協力のお願い」受領

## 誕生祝い・結婚祝いの一言

## 佐久間艇長の手記

三枝一雄 会員



## はじめに

先日モラロジーの用事で福井県美浜町に行つて参りました。その折、ふとしたご縁で、隣の三方町の佐久間艇長の記念館をおとずれたのでそのことをお話し致します。この話は現代では聞いたことがないという人の方が多いかと存じますが、戦前・戦中に小学校時代を過ごした方は、多分小学5年頃の教科書で「佐久間艇長の手記」を習った記憶があると思います。

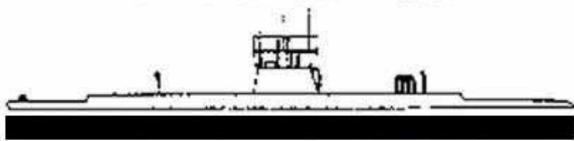


## 潜水艇ついに浮上せず

時は、明治43年4月15日、山口県新湊沖で潜航訓練中の第6号潜水艇は事故の為に沈没しました。艇長佐久間勉大尉ほか14名の乗組員は故障を修理し必死の浮上を試みましたが奏功せずついに全員殉職しました。遭難後2日、艇が引き揚げられた時に艇内に入った関係者は目を疑

い、やがて激しく号泣しました。艇長以下誰一人取り乱した様子もなく整然と自分の職場を守ったまま息絶えていたのです。かつて欧米ではこの種の事故が何回か起きていましたが、引き揚げ後ハッチ(昇降口扉)を開く度に、我先に脱出しようともがいて死んだ凄惨な姿があったそうです。それにひきかえ、この全員の従容とした最後は武人の誉れとして報じられその感動は全国に広がったのです。

### 佐久間艇長の遺書



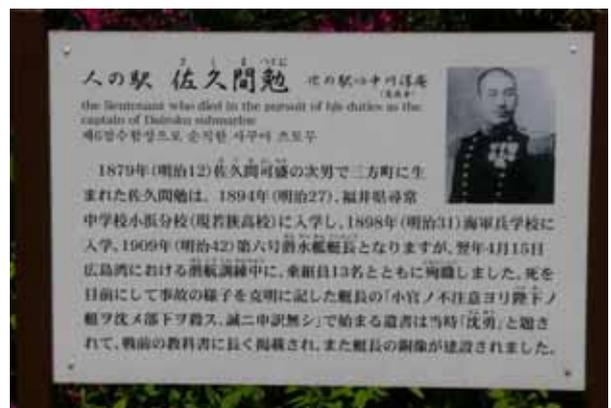
#### 佐久間艇長の手記

ところが事はそれだけではありませんでした。遺留品を整理した後から艇長の遺書が発見されたのです。そこには、まずリーダーとしての自分の不注意により陛下の艇を沈めて大切な部下を死に至らしめたことのお詫びに始まり、艇員が最後まで沈着に活動したことを述べ、さらにこの事故が将来わが国の潜水艇発展に障害がないよう願っています。沈没の状況・原因・その対応並びに処置を冷静に記述し、私事の遺言状は別にあるとして一切ここでは述べていません。後はわが部下の遺族の困窮のないよう陛下にお願いし、別れの挨拶の意味でお世話になった海軍先輩・恩師の名前を列記。最後に「12時30分呼吸非常ニ苦シイ。瓦斯林ヲブローアウトセシ積リナレドモ、ガソリンニヨウタ。12時40分ナリ。」で終わっています。



#### 佐久間記念館訪問

9月26日午後の事でした。私は友人の案内で三方町北前川の前川神社内の佐久間記念館を見学しました。本道からはずれて少し山道を上ると広場があり、そこに記念館と墓地、顕彰碑がありました。記念館は常時公開ではなく、町の教育委員会に予め連絡して開けてもらうような小さい建物でした。入ると普段あまり人がいないような黴臭い会場でしたが、遺言の写しと艇長の人となりの偲ばれる展示物を見て感動を覚えました。さらに、その奥にご生家があり今も関係者が住んでおられました。秋草を踏み分けせせらぎの音を聞き、更には虫の音が聞える鄙びた場所のひっそりとしたたずまいは質素を旨とする武人の末裔にふさわしい生き方が思われます。



#### 武人のひととなり

佐久間勉は明治12年、佐久間家の次男として生まれ、明治34年海軍兵学校を卒業、37年には日本海海戦に参加し、温厚にして沈勇、多くの尊敬を集めました。海軍大尉に昇進して41年結婚、妻は不幸にも長女を出産して死亡しました。43年、妻の一周忌の法要を営んで2ヶ月余、30歳で後を追う事になりました。家族にはあらかじめ遺書を残しておりますが省略します。

## むすび

佐久間艇長については夏目漱石の「文芸とヒロイック」というエッセイがあり、大正生まれの人はこれによって佐久間勉を知らない人は少ないといわれます。戦後 60 年を過ぎて当時のヒロイックな物語は殆ど次の世代に伝わらなくなりました。今から一世紀も前、刻々と迫って来る死と向き合いつつ沈着冷静に部下を統率し、呼吸も切迫する中でこれだけの遺書を残し得た責任感・精神力の強さは計り知れません。かつての帝国軍人にはいや日本人にはこうした今は知られざる偉人や偉拳がいくつもありました。今日にもこうした教訓が感動を呼び、青少年を感化する力があるのに教科書から消されていることは勿体ないと思います。反戦の歌を詠んでもてはやされる与謝野晶子が当時次のような挽歌他 12 首を残しています。

海底の水の明かりにしたためし

永き別れのますら男の文

最後に、私を案内してくれた美浜モラロジー事務所代表世話人馬野敏三氏、「佐久間艇長の遺言」(TBS プリタニカ 編集部編)を寄贈くださった同事務所、四ツ橋嘉子さんに感謝の意を表します。(本文は当日の卓話に加筆訂正したものです。なおこの物語は心の生涯学習誌「れいろう」本年 10 月号にも大津木章三氏の一文が寄せられています)

## 誕生祝いを買い

小野恒靖 会員



小野会員の近況報告として、全国卓球大会に

出場すること、10/26 の 2790 地区の地区大会と自身が会長を務める富津市国際交流協会の 20 周年記念式典がかさなっていることなど、資料を交えながら簡潔に話されました。

## 結婚・誕生祝いを買い

高橋裕之 会員



私は、10 月生まれで 10 月に結婚したため、毎年両方のお祝いをいただいております。

今年の 10 月は高島会長が、私の職業にも関係のある「水についての話」をされていますので、私からも少し話をさせていただきたいと思えます。

水道というと、多くの方は公共の上水道を思い浮かべるでしょうが、それでも 100%とはいかず、概ね 97%程度の普及率(富津市は 95%程)でしょうか。これに井戸などの自家水道を加え、水道となっております。

私の仕事は、この水道の設備(主に給水装置)を設置することですが、このときの設計や申請に必要な基準の 1 つが、一人一日あたりの水の使用量ということになります。この基準の数値を元に、配管の口径などを決めていくわけです。

現在のほとんどの水道事業体では、一人一日あたり 250L を最大使用水量とすることになっており、高島会長の話中での 280.7L にほぼ当てはまるようです。

日本の場合、殆どの地域で水源に恵まれておりまして、我が富津市でも小櫃川の河川表流水からの取水と、宝竜寺にある深井戸からの地下水の取水の 2 つの水源が豊富に確保されている

状態です。

ところが、最近の新聞に少しばかり気になる記事が載っていました。それは、鬼泪山の砂採取が、千葉県議会で賛成多数で可決されたと記事でした。詳しく調べたわけでもなく、また、建設業界に身を置く者としては、地元産業の活性化の点から喜ぶべき事なのですが、少しばかり不安もあります。

聞きかじりの話ですが、鬼泪山からは、50年間も砂を採取し続ける事が出来るようです。50年間分もの砂を取ってしまって、富津市の地下水は大丈夫なのだろうかという心配です。

もっとも、私の弟の「浅間山の砂を取ったため、房総半島の荷重が減り、地震のサイクルが遠ざかっているんだ。」という新しい学説？からすると、鬼泪山の砂を取ってしまえば、更に地震が遠ざかると言うことになるのでしょうか...

結婚祝いを貰い

佐藤信泰 幹事



過日、結婚祝いありがとうございました。

私は1961年の結婚ですから早47年、いよいよ金婚式というのにも近くなりました。

女房とは見合い結婚ですが、大学を出て東京で勤務していた私に、北海道の田舎から見合い写真が送られてきました。

その写真は私の高校時代の卒業アルバムの切り抜きで、若かりし日の女房の写真でした。

高校の同期には8クラスがありまして、女房がE組、私がF組でしたから、実は隣のクラスだったわけです。高校時代、私もうぶで彼女を全く知り

ませんでしたので、田舎に帰って見合いをし、図々しくも1年後に結婚することを決めてしまいました。

結婚生活のスタートは、田端のアパートで6畳一間にちゃぶ台が1つ。月給が13,500円で、貧しい生活を余儀なくされました。動坂から業平橋まで、都電で通勤していたことを思い出しますが、都電の切符は確か25円であったと思います。

あれから47年。これまで世話を焼いてくれた女房には感謝している次第です。その女房は今日、熱海での同期会に2泊3日に出掛けているところです。

結婚祝いを貰い

須藤 隆 会員



私の結婚記念日は1971年(昭和46年)10月24日で、先ほど話された佐藤様の結婚記念日とちょうど10年後の同じ月日であります。私も結婚してからは人並みに結婚記念日には妻と記念の日を確認しあったものですが、それも結婚してから3年目まででありました。と申しますのは結婚して3年目の結婚記念日の翌日に長男を事故で亡くしたため、結婚記念日の翌日の方が我々夫婦にとって重く、大きな日となってしまったからです。

それ以来結婚記念日を祝う気持ちになれず、昨年まで30数年間お互い結婚記念日のことを触れずに過ごしてまいりました。

しかしこの度、ロータリークラブへ入会いたしましたら結婚記念日の月にワインがプレゼントされ、皆さんに祝福されることになったわけであります。

子供の事故のことは永遠に忘れることは出来ませんが、事故から30数年も経過しており、今年ロータリークラブに入会させていただいたのを契機にこれからは素直に結婚記念日を喜んでいこうと思います。

## 出席報告

白石幸久 出席副委員長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	19	18	1		94.73%
前回	19	17	2		89.47%

## 近隣クラブ例会日(括弧書き以外 12:30)

月	君津、袖ヶ浦
火	富津(最終例会 18:30)
水	木更津東、富津シティ
木	上総、木更津

君津 RC	ホテル千成	0439-52-8511
袖ヶ浦 RC	レストランすずとみ	0438-60-1129
富津 RC	山の上ホテル	0439-67-0388
木更津東 RC	ホテルロイヤルビルズ 八宝苑	0438-23-0211
富津シティ RC	ホテル喜楽館	0439-87-4126
上総 RC	割烹旅館山徳	0439-27-2003
木更津 RC	東京ベイプラザホテル	0438-25-8888

## エンターテインメント

今週は、ネタ切れでお休みです。

前回(10/2)の答は

「ヨンダイホウシ」  
でした。

ク	ウ	キ	シ	ヤ	カ	イ
ラ	イ	バ	シ	ヨ	ケ	シ
ブ	ン	コ	ク	サ	イ	
	ブ	ギ	ウ	ギ	ボ	ウ
ゴ	ル	フ	ジ	ヨ	ウ	シ
ウ	ド		ツ	ウ	ガ	ク
ガ	ン	カ	ケ	イ	カ	ダ
イ		ホ	ン	ネ	イ	テ

## 編集後記

佐久間艇長の話は、今まで聞いたことがありませんでしたが、明治の武人の極めて高潔な生き方に触れ、平成の世の行き過ぎ的個人主義ともいえる身勝手な社会を思い知らされたようでもあります。

近頃では、知的財産権・個人情報の保護・法令遵守・企業統治と法も整備され、それらをマスコミが取り上げれば取り上げるほど、公共や国益というものがおざなりになり、個人の権利が犯されざるべき最も重要なものであるかのような風潮に疑問を感じるのは、私だけでしょうか。

たった一度の失敗に二度目のチャンスは許されず、徹底的に糾弾される世の中。

餅のほうがか喉に詰まらせ死亡する事故は遙かに多いのに、自主回収を余儀なくされた“こんにやくゼリー”など、少し冷静に考えれば、とてもおかしな話です。

個人の権利を主張するあまり、世論・民意の名の下、むしろ逆に全体主義的な社会になってしまっているようにも思えます。

スローガンとしての「一億一心」「滅私奉公」「八紘一宇」は、良くないかもしれませんが、本来の意味での「滅私奉公」など、今まさに求められているようにも思えます。

「今」と言う時代を預かっている我々は、個人の権利を主張することより、後世にもう少し良い社会を残す義務があるのではないかと考えます。

やはり、ロータリアンとしてはこれに尽きるのでしょうか。

## 『四つのテスト』

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

高橋裕之